

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成30年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間(4月～3月)

施設名	萩野センター	指定管理者	医療法人財団 暁
指定期間	平成30年4月1日から 平成35年3月31日まで	担当課	高齢者支援課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	244	247	101.2%	
	延べ利用者数 (人)	3,000	3,458	115.3%	
	自主事業	実施回数 (回)	542	421	77.7%
		利用者数 (人)	3,753	3,313	88.3%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	13,908,000	13,908,000	100.0%
		利用料金収入 (円)	2,550,000	2,992,000	117.3%
		自主事業収入 (円)	2,867,000	2,663,500	92.9%
	収入計 (円)		19,325,000	19,563,500	101.2%
	支出	人件費 (円)	11,054,300	11,057,284	100.0%
		維持管理経費 (円)	6,532,980	5,705,205	87.3%
		自主事業関係経費 (円)	1,546,580	1,326,072	85.7%
		その他の支出 (円)	0	0	0.0%
支出計 (円)		19,133,860	18,088,561	94.5%	
収支 (収入－支出) (円)		191,140	1,474,939	771.7%	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 開館日数は土曜日、祝日の自主事業を開催したため日数増加につながった。 通所利用者数は振り替え利用を推進したため予定数を上回った。 自主事業利用者数は、利用者ニーズに沿った講座に絞ったため利用者数はやや減少した。</p>	<p>【事業の実施状況について】 通所事業は居心地の良い空間を作り、活動にも配慮をしているため利用者からは落ち着く空間、居心地の良い空間と好評である。 また、自主事業の実施回数は講座の見直しをはかり質の良い講座を目指したため減少傾向になったが、今後、新しいニーズの高い講座を導入していく。</p>	<p>【収支状況について】 通所事業は、振り替え通所、居心地の良さを追求しているため、利用者の数が増え、収入は上向き傾向にある。自主事業に関しては、目標である数値には届かず、今後の事業を見直し発展を試みる必要がある。男性利用者の確保や講座の更なる発展を考慮していく。</p>
--	---	---

所管課の評価 (指摘事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 開館日数は前年度より減少していますが、利用者数は昨年度より増加しており、評価できます。引き続き、啓発・広報活動に努めてください。</p>	<p>【事業の実施状況について】 通所事業は、利用者にとって居心地の良い空間作りを心がけていることもあり、延べ利用者数の増加に繋がっていることは、評価できます。引き続き、より良い形で活動ができるよう努めてください。</p>	<p>【収支状況について】 事業の収支は、昨年と同等であり良好です。今後も、収支のバランスに努めてください。</p>
---	---	--

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	5人 人員配置計画、実地、出勤簿	5人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	12回/年 研修マニュアル	実施回数12回 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）

通所事業は年間計画を上回った。振り替え利用や魅力ある活動を重ねてきた結果であると思われる。自主事業に関しては上半期で講座数の増加を意識し過ぎ、少人数の講座から多数参加の講座まで開講していたが、ニーズに沿った講座という目標を見直し、下半期は講座数を絞った。その結果講座の質も向上し、喜ばれる内容に変わり利用者数も少しずつ伸びてきたが下半期で巻き返すことが出来なかった。今後さらに周知活動に力を入れ、さらなる利用者の増加を目指していきたい。

市による所見（指摘事項など）

通所事業は、利用者にとって居心地の良い空間作りを心がけていることもあり、利用者から好評であったことは評価できます。自主事業についても延べ利用者数が減少したものの、質の高い講座に重点を置き、既存の利用者のニーズに応えられるような運営をしている点は評価できます。引き続き、通所事業と自主事業の連携を図り、収支のバランスを意識してください。